

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2011年 5月号 (第39号)

発行責任者 加曾利 厚雄



● 開院境内 H23.5.1 藤澤豊彦氏撮影

＜第4期ところざわ倶楽部のこれまでの事業を振り返って＞

・・・ 活動指針のフォロー ・・・

ところざわ倶楽部会長 加曾利 厚雄

「第4期ところざわ倶楽部」の活動指針は「サークル活動を活かした事業、サークルと理事会が一体化した事業展開」がその中核です。

1月の公開講座「どうなる日中関係」は羅先生の人間性の賜物と思いますが、質疑の際には会場と先生が一体となった雰囲気があり、盛り上がりました。“アジア研究会”が企画から会場整理なども含めて、力を貸してくれました。お陰様で、約150名の参加があり盛会に終わりました。

3月の事業は、“傍聴席”と理事会の協力のもと、廣瀬先生とトータルで十数回のミーティングを実施することにより、講演「郊外都市ところざわは生き残れるか」とグループミーティングを組み合わせた会として成功させることが出来ました。また、傍聴席の方々の骨折りで、所沢市議会議員及び市役所の職員の方が数

名参加されたことも、今後のところざわ倶楽部の活動に良い影響を与えることと思います。この事業の成果は、「ブログ“傍聴席”」やところざわ倶楽部の「会報“広場”」・「ホームページ」でフォローされています。是非ご覧ください

以上の結果を見る限り、冒頭の活動指針は、着実に各サークルの活動に浸透しつつあると考えています。

なお、5月の講演会は、“地球環境に学ぶ”が担当し、テーマは「あなたの食が地球を変える～フード・マイレージから食と環境を考える」で、7月は“葵の会”の「宮沢賢治に学んだこと」です。両講演会とも担当サークルの努力により興味深いものとなるでしょう。

今後とも皆様のご期待に添えるような事業を企画、推進して参りたいと思いますので、皆様の積極的な参加とご協力をお願い致します。

ところざわ倶楽部5月・7月講演会特報

願い合わせて参加しよう！

【食と環境の講演会】

「あなたの食が地球を変える」

— フード・マイルージから食と環境を変える —

日時：5月28日(土)14:00～16:00

(受付開始 13:30分～先着順)

会場：新所沢公民館ホール(緑町1丁目)

講師：中田 哲也氏(農林水産省)

自給率の低下、膨大な食べ残しなど、現在の私たちの「食」は大きな問題を抱えています。さらに、大量の輸入食料に依存した私たちの食生活は、地球環境にも大きな負荷を与えています。フード・マイルージを通じ、食の面から私たちができることについて、みんなで考えてみたいと思います。

主催：ところざわ倶楽部(担当：「地球環境に学ぶ」)

問い合わせ先：塚本 04-2942-3117

中島 04-2928-1161

渡邊 04-2924-9674

【文芸公開講演会】

「宮沢賢治に学んだこと」

賢治の心 東北から世界へ！

— その郷土性とテクノボウ精神について —

日時：7月15日(金)午後14時開演予定

会場：所沢中央公民館ホール(元町)

講師：小川連雄氏(元高校教師)所沢在住

宮沢賢治の代表作「雨にもマケズ」が、大震災に打ちひしがれる東北地方の人たちへのメッセージとして、国内に、そして海外へと広がっています。この作品は戦時中から苦難を耐え忍ぶ象徴として、日本人に広く親しまれてきました。我々も今一度、宮沢賢治の生き方、作品を通して、東北に思いを馳せ、東北の被災者と痛みを共有するとともに、日本のあり方を考えてみませんか。

主催：ところざわ倶楽部(担当：「葵の会」)

(詳細は6月号)

市民大学第18期は今、そして19期は

所沢市民大学第18期は、所沢市政60周年に当たる昨年6月に1年次が始まり、13の「講座」と「移動学習」及び6つの「課外授業」をスケジュールどおりに終えました。大多数の受講生が各講座に満足するとともに、周到に用意された教材を使い、興味深く、分かり易い講義と、質問に懇切丁寧にご回答下さった講師の先生方の熱意と誠意に深い感銘を受けました。また、課外授業では、近くに永く住みながら知らなかった名所旧跡を廻ったり、初めて市議会を傍聴するなどして新しい目も開きました。一方、受講生仲間で、小鹿野歌舞伎を鑑賞に赴くもの、都電荒川線の旅をするものなど、互いに親交も深めました。その熱い興奮をそのままに、お酒の入らない1年次終了懇親会を予定したところ、直前に未曾有の東日本大震災が発生したため、自主的に中止する一方、義援金を募りました。このことが唯一心に残る暗い記憶となりそうです。

そして4月、72名の受講生が2年次のグループワークに取り組むことになり、「脳の科学」、「日本の芸能」、

「地方自治」、「音楽」、「所沢市史」、「地域の自然」、「都市の環境」、「日本の農業」の全8講座でリーダーや担当も決り、順調に滑り出しました。更に、軌を一にして「所沢市民大学実施要領、所沢市民大学組織運営基準」が本年4月1日に施行されました。

また、第19期がこの6月に開講致します。既に全ての準備が整いました。

市民大学通信編集委員長 岡田俊吾



18期授業の一コマ

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

所沢旧市街の史跡・名所を訪ねて

野老澤の歴史を楽しむ会 藤澤豊彦

先ず、南陵中学校の校庭にやってきた。ここは7世紀後半の大化の改新当時、大和朝廷が全国統治のために作ったとされるわが国最古の国道「東山道武蔵路」が発掘された場所である。なお、この周辺一帯は、所沢市域に初めて大規模な集落が出現した弥生時代後期(約2,000年前)の住居跡及び奈良・平安時代の集落跡等が多数出土した「東の上(アズマノウエ)遺跡」でもある。

次いで江戸時代の医家の長屋門と蔵を遺す所沢郷土美術館を観た後、旧鎌倉街道を辿り實藏院を訪れた。この寺は、野老澤にまつわる「野老山」という山号を

持ち、参道では江戸時代から続く『三八の市』が今なお開かれ、市民に親しまれている。そして、本日のメインテーマ「馬のまち観音祭の新光寺」に到着した。本来は、馬を慰労する賑やかなはずのものが、震災自粛で静かな祭となっていた。

約4キロメートルを3時間程度で巡る行程を振り返って、弥生時代の古代から近世、近代、現代まで、すべてが身近に触れることができる『歴史の街 所沢』の素晴らしさを実感した1日でした。(4月18日)



講演「たった13日間のインド旅行」を聞いて

アジア研究会 小椋 雄二

アジア研究会4月定例会は大震災で延期したサークル会員村上紀子さんの講演でした。

4月11日(月)13時30分から16時の間、中央公民館で会員18名が出席し、スライドを見ながら講師のお話を聞きました。この講演を聞

いて、改めてインドとそこに暮らす人々を一括りに表現するなんて無謀で無理だと感じました。国土も広いが人口も多く、ヒンズー教が大部分とは言え、イスラム教も、そしてほんの少数ですが仏教もありという、おおらかで大雑把な世界。インドといえば、ガンジー、ネルー首相、カースト制度、お釈迦様、ガンジス河、そして近年世界に誇るIT関連が頭に浮かびますが、懸命に生き



抜こうと努力(中にはもがいている人がいても)している生の姿が講師の印象に強く刻まれ、私にも良く伝わりました。きれいな、汚い、金持ち、貧乏、それらがごちゃ混ぜになりながらなんら恥じることなく、「明日はもっと良くなる、だからもっと一所懸命に生きなくちゃ」の精神が輝いて見えます。日本も池田総

理の時代には同じ様にみんな輝いていたのに。とつくに私達が失ってしまった(かな?)キラキラした心と

固有の悠久の大地が、インドに魅せられる(魅せられた)理由なのでしょうか。



花谷八幡湿地での田圃体験

地域の自然を考える会 前岳良子

4月16日、花谷八幡湿地で初めての田圃体験。メンバー5人(男1人、女4人)の参加で、小手指駅南口へ午前7時50分に集合し、車で現地へ直行。湿地保存会の人達に迎えられ、保存会及び近所の方々、我々を含め総勢15人のメンバーで田作りの最初の作業「荒起こし」を実体験。



副会長さんよりの挨拶そして簡単な説明を受けた後、早速、作業開始。まず、前年の株の掘り起こしと周辺の草むしりでスタート。普段持ち慣れない鍬や鎌を使っての作業、特に、鍬での古株の掘り起こし作業はなかなか力もいるし、結構大変な作業。10分ぐらい経つと額から汗が出て来る。おまけにへっぴり腰の構えではスムーズに事が運ばない。保存会、近所の人達は手



慣れたもので、どんどん前へ進んでいく。

天気は快晴。名残りの桜の木からは風に吹かれて花吹雪が舞い落ちて何とも言

えない風情。木々からは鶯や小鳥の声、そして田圃の中からは蛙の声。また、おたまじゃくしが間もなく孵ろうとしている。

所沢にも、こんなに自然豊かな所が有るのかと思わず感激!

途中、休憩が入り、午前中約3時間、午後約1時間の肉体労働を堪能。久々に筋肉を使ったという感じで手足や足腰の疲れが心地よい。

昼食は近所の奥様方の手作りの地元で採れた陸稲(おかぼ)のカレーライスをご馳走になる。これがまた、神社の側の桜の木の下で食べて何ともはや最高のランチタイム。お茶も地元の狭山茶で美味しくて何杯もお替りを頂く。



お蔭様で楽しい一日を過ごす事が出来ました。

感謝! 感謝!

今年度、我々のサークルでは米作りを収穫まで携わっていきたいと思います。皆様も御一緒しませんか?

私たちのサークル活動紹介

傍聴席 本間 滋

昨年11月、加曾利代表から、「来年4月に予定されている市議選を意識した催しを3月の事業として企画して貰えないかと」という要請があり、これが3月12日に行われた新タイプのイベント「郊外都市<所沢>は生き残れるか」として形になったことはご存じの方もあると思います。

そのイベントの「総括」で、「市議選に我々はどう対応すればよいか」という市民からの質問に対して、講師の廣瀬克哉先生は「選挙期間中に駅頭や街頭で候補者に会ったら、一言二言でも直接対話をする事」を奨められました。これが1つのきっかけとなり、思い切って市議選立候補者全員(3月28日現在)へのアンケートを行いました。質問内容は、昨今話題になっている「議会の透明性と説明責任」いわゆる「議会の見える化」についてのものでした。

お蔭さまで最終的には現職の候補者27人中20人から多彩な回答が寄せられました。(回答率74.1%)記述式のこのようなアンケートは所沢では初めての試みでしたが、流石に現職20人の方の回答はそれなりに内容

のあるものでした。ただあの時点で17人を数えた新人候補者からは、僅かに3人から回答があっただけで、これで23年度議会は大丈夫か、といささか心もとない思いを感じたことも事実でした。4月25日に新しい市議会の顔触れが揃ったところで、これらの回答は回答者名を添えてブログ「傍聴席」で全て掲載され、これへのアクセス数は記録的なものでした。

今年のサークル「傍聴席」、次のターゲットは10月の市長選です。以上当面の近況報告です。



サークル活動計画

■ 興味ある活動に皆さんも参加してみませんか！

アジア研究会 (小椋雄二 2021-7739)

5月18日(水) 13時30分定例会

新所沢コミセン別館、「イエメンのアデン紹介」

講師：西川貞雄氏(サークル会員)

6月定例会は「タイの現地生活実情」の予定
日時・場所は未定

傍聴席 (高垣輝雄 2026-7164)

5月定例会、5月16日(月) 15時より

場所：新所沢コミュニティセンター別館

(第1班発表一市議選を省みて)

選挙前の市議立候補者アンケート結果の纏め他

楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要)

5月11日(水) 13:15～(場)中央公民館8・9号室

映画「ガヤン生誕100年記念トキムツ」DVD鑑賞

6月14日(火) 13:15～(場)中央公民館8・9号室

喜歌劇「メリー・ウイダー」DVD鑑賞

地球環境に学ぶ (塚本二郎 2042-3117)

5月17日(火) 15時～新所沢コミセン別館5号室

5月28日(土) 講演会の直前準備作業(5月13日会場、

講師との打ち合わせ他)・エコライフデー実施準備。

6月21日(火) 15時～定例会の予定

地域の自然を考える会 (前岳良子 2028-7334)

5月24日(火) 定例会 13時より

場所：新所沢公民館

5月29日(日) さつまいも苗植え体験 8:30より

場所：靴谷八幡湿地 現地集合

公園を楽しむ会 (竹内隆造 2022-3711)

5月26日(木) 荒川線散策、飛鳥山公園など

集合場所：都電・東池袋4丁目、集合時間：10時

(所沢駅9時1分発 新木場行きに乘車、東池袋下車)

6月23日(木) 芝公園・増上寺

所沢の自然と農業 (渡部昇 2049-9432)

5月9日(月) 三富研究会会議

5月10日(火) 定例会

5月26日(木) 三富研究会会議

毎週 火、金 所沢産有機野菜販売支援(椿峰集会場)

ダースの会 (斉藤昌弘 2008-0406)

5月6日(水) 定例会・学習会 DVD鑑賞

5月18日(水) 課外活動・新緑の散策ハイク

6月1日(水) 定例会・DVD鑑賞

6月15日(水) 課外活動・場所未定

地域の自然 (加茂恵三 2044-6554)

5月14日(土) 植生調査と畑地の整地

早大B地区にて 9時～12時30分

5月21日(土) 上記雨天場合の予備日

5月28日(土) サツマイモ栽培の体験日早大10時～

歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)

5月21日(土) 勉強会・中世の所沢

集合場所・時間：新所沢東公民館・9:30

6月11日(土) 大石氏縁の滝山城を訪ねる

集合場所・時間：所沢駅新宿線ホーム特急券売り場付近9:50

ドラマティック・カンパニー (八木 2005-0148)

新テキスト「ヴェニス商人」を読みます。

活動予定日=5月7日(土)、5月21日(土)

時間=10:00～12:00

場所=新所沢コミュニティセンター別館

葵の会 (池田新八郎 2040-0711)

5月12日(木) 定例会 13時30分～16時

中央公民館学習室2号

古典講座 源氏物語「空蝉と一夜」

5月20日(金) 「狭山湖一周ハイキング」

野老澤の歴史を楽しむ会 (嶋崎 2948-7331)

5月19日(木) 手もみ茶づくり体験

実施場所：狭山丘陵生き物ふれあいの里センター

集合場所：下山口駅午前9時半・・・(雨天決行)

各自軍手等用意 弁当持参

北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)

5月21日(土) 第22回例会 13時20分

北欧のエネルギー政策 他

6月25日(土) 第23回例会 13時20分

場所 新所沢コミセン別館

音楽連・市民大学派 (若山昭 2022-1494)

5月16日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会

5月30日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会

6月6日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会

6月20日 (中央公民館 13:00-15:00) 例会

《一寸庵閑話》

▼ 昨年4月に立派な新中央公民館が完成しました。しかし、トイレがウォシュレットではありません。

所沢市の『行政の貧しさ』を感じました。そして、秋に新所沢公民館がオープン。今度はエコ付きのウォシュレットで初期投資がかさみますが、これで『ヨッシャー』だと思います。

▼ 3年前、ウイーンに9日間滞在してウイーン国立歌劇場でオペラを3つ鑑賞しました。最寄りの駅は地下鉄カールスプラッツ駅。その地下アーケードにある有料トイレには『美しき青きドナウ』がBGMで流れていました。♪♪ なぜか出がいいような気がしましたし、いやなことは水に流せ・・・ということのようです。これがハプスブルグ家の『文化』です。

▼ 博多港から釜山へ高速フェリーで行きましたが、博多港のトイレには韓国の人たちへの配慮でしょうか、使用済みトレペを入れるバケツが置いてありました。韓国、中国ではトレペを流す習慣がまだ十分ありません。日本は湯水のように水も紙も使い捨てにしています。また会社の出張でアムステルダムに行ったとき、巨人国オランダのオフィスのトイレの小便器が高い位置にあるのです。これも厳然たる事実であり『文化』だと思います。

▼ 今回の東日本大震災で多くの国からさまざまな援助がわが国に対して寄せられています。国際化が進むなかで、文化・生活習慣の違いをふまえて、グローバルに考え、ローカルに行動することが大切です。『情けは人のためならず』という言葉の意味をもう一度考えてみたいと思います。(ケン・シェイクスピア)

お酒のおつまみ簡単レシピ

広報担当理事 後藤律子

カレー風味三角春巻き (2人分)

- 材料 春巻きの皮:大4枚、豚ひき肉:100g、玉葱:小1個
 ミックスベジタブル:カップ1、カレー粉:大さじ1、塩・コショウ:
 適宜 溶き片栗粉少量、溶き小麦粉少量、サラダ油
- 作り方 ①フライパンに油を引き、玉葱みじん切りとひき肉を炒める。
 ②肉がバラバラになったらミックスベジタブルを入れて炒め、塩とコショウで味付けする。
 ③カレー粉と溶き片栗粉を入れ、具材をまとめる。
 ④春巻きの皮を3分の1の大きさに切っておく。
 ⑤この皮を三角になるように折り、具材を入れて包む。端を溶き小麦粉で貼り付ける。
 ⑥約180度の油で揚げる。

トリ肉ささみのザーサイ和え

(2人分)

- 材料 ささみ肉:150g、ネギ:1本、
 味付けザーサイ:カップ約2分の1
 ごま油:小さじ1、塩:適宜
- 作り方 ①ネギを長さ5センチの白髪ネギにする。
 ②ササミを茹でて適当な大きさにちぎる。
 ③ザーサイを幅5ミリに千切りにする。
 ④①から③を合わせ、塩とごま油で味を整える。

むさし野俳句会 (二十三年四月) 作品抄



カレー風味三角春巻き



ささみのザーサイ和え

三極の花や信濃の手毬唄
 スペイン語通じて美味きビールかな
 春昼の奏者の傍に盲導犬
 観桜の大社に残る能舞台
 水面揺るる湖底の村に初音かな
 花吹雪舞台に立ちし心地して
 被災地の瓦礫に咲いて梅の花
 余震またひとり正座す余寒かな
 萱草の観音堂に芽が二寸
 大洋波耐へにし松や春の月
 春寒や停電中の蒸しいも
 峡(かい)暮れて薄墨いろの暈さくら
 名刺の桜餅食ふ隅田川
 何はさて忍ぶが岡の桜かな
 千年に一度の地震(ない)や亀鳴けり
 地震(ない)津波荒れに荒れたる空海忌
 震災の憂きこと知らずさくら咲く
 たんぽぽやいつも島の茶飲み場所
 庭石に雨のトレモロ桜餅

鈴木征子
 小林貞夫
 小林典子
 佐藤英子
 佐藤八郎
 高梨千代
 高橋三郎
 高光 泉
 田中澄子
 利根川啓一
 中村直子
 平栗彰子
 荒幡千鶴子
 井出 昇
 海老澤愛之助
 岡本詔一郎
 岡本 博
 粕谷 昇
 河瀬俊彦